

# 第6学年図画工作科指導略案

平成27年10月27日(火) 1校時  
 指導者 教諭 小松 文彦  
 場所 6年教室

## 1. 授業について

題 材 名	この絵のおもしろさは? 本時1 / 1時間
本時の目標	形や色, 表現方法の特徴を伝え合い, 美術作品の見方を深める。
指導にあたって	・美術作品を <b>ipad</b> で提示し, アップにしたりしながらグループで確認できるようにする。 ・電子黒板を使つての発表に取り組ませる。
視聴覚教材・教育機器を活用する目的	■ 作品の提示 ■ 情報の共有 ■ 拡大表示
使用する視聴覚教材・教育機器	■ パソコン ■ 電子黒板 (プロジェクター付) ■ <b>ipad</b> ■ 作品の拡大シート ■ アートカード

## 2. 授業の流れ

主 な 活 動	・ 留意点 ※ 準備物等 ★ 評価
1 本時の学習内容を確認し, 学習の見直しをもつ。	※ 電子黒板 ・ 作品鑑賞への意欲を高めるために, それぞれのグループが選んだ美術作品を電子黒板に映し出す。
選んだ美術作品のおもしろさやひみつを見つけよう	
2 グループで美術作品を見て, おもしろさやひみつを鑑賞シートにメモする。  3人グループ・・・3 2人ペア・・・1	※ 鑑賞シート, <b>ipad</b> , アートカード ・ 一人一人が感じたおもしろさやひみつを明確にするために, 作品を中央に印刷した鑑賞シートを配布し, 余白に記入するよう指示する。 ・ 作品を全体から鑑賞できるようにするために, アートカードを配布する。 ・ 作品を自由にアップにして鑑賞できるように各グループに <b>ipad</b> を渡す。 ・ まとめられない児童には, 色・形・表情などの着眼点を示し, 感じたことを共感的に受け止める。
3 グループごとにおもしろさやひみつを発表し, 意見を交換する。	※ 電子黒板, 作品の拡大シート ・ おもしろさやひみつのもとになった根拠を伝えられるようにするために, 作品の具体的な形や色, 動きなどを示すように助言する。 ・ グループごとにパソコンを操作しながら発表できるよう支援する。 ・ 意見交換することで, 他のグループの児童はどう感じたかを気づかせるようにする。 ★ 【鑑賞の能力】 形や色, 表現方法の工夫から美術作品のおもしろさやひみつを見つけ, 見方を深めている。
4 意見交換で得た友達の見方を付箋紙に書き, 鑑賞シートに貼る。	※ 付箋紙 ・ 自分が気づかなかつた作品の感じ方を, 短い言葉で付箋紙に書くよう伝える。
5 選んだ美術作品に題名をつける。	※ 題名記入用紙 ・ 美術作品の題名が考えられるように, 自分が感じたことや友達の見方をもとにするのを助言する。 ・ 鑑賞シートにふり返りを記入させ, 数名に発表させて感想を共有する。
6 今日のふり返りする。	